

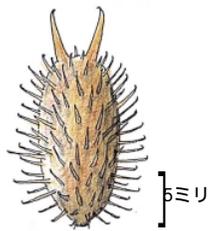
「ひっつきむし」という植物

「ひっつきむし」を知っていますか？むしと言っても、昆虫やクモなどの動物のことではありません。夏から秋、河原や森の中を歩くと、いつの間にかズボンやシャツにびっしりとひっついて、やっかいなやつです。払い落とそうとしても、かぎのようになったトゲが繊維にしっかり食い込んでいたり、ベトベトした粘着液でくっついていたりして、そう簡単には落ちてくれません。家に帰ってからも、着替えてみると靴下や下着にまで入り込んでいることがあります。

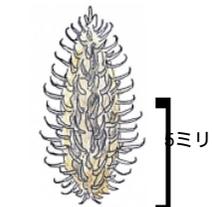
「ひっつきむし」とは、生物の正式な名前ではありません。繊維にひっついてくる様々な植物の種子を、俗にこう呼んでいるのです。種子がわざわざこんな奇妙な形に進化したのも、動物の毛や鳥の羽根にひっついて、できるだけ遠くまで種子を運んでもらおうという繁殖戦略の賜物^{たまもの}なのです。実際、このような植物は、世界的に広く分布している種が少なくありません。

下に、天竜川の代表的な「ひっつきむし」を挙げました。ちくちくしたりベトベトしたりとやっかいなやつですが、よく観察してみれば、ひっつくために驚くほど機能的に進化した形を楽しむことができます。

(秋山幸也)



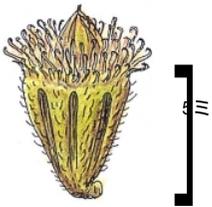
オオオナモミ(キク科)



オヤブジラミ(キク科)



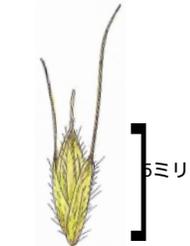
アメリカセンダングサ(キク科)



キンミスヒキ(バラ科)



ヌスビトハギ(マメ科)



ケチジミザサ(イネ科)

ヘラオモダカ *Alisma canaliculatum*

オモダカ科

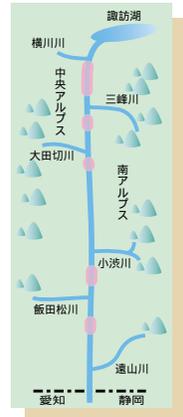


撮影 EAC

生活型：多年草、抽水植物

分布：日本各地

形態等：葉は根元から出る。葉は全長8~55cm、葉身は長さ4~30cm、幅0.5~4.5cmの披針形。花期は7~9月、白色~淡い桃色で、花弁3枚の花をつける。花茎は高さ20~80cm。



天竜川上流における分布

飯田市時又から辰野町新樋橋にかけての所々で確認した。個体数は少ない。水際の泥湿地に生育する。水田によく見られる。

オモダカ *Sagittaria trifolia*

オモダカ科

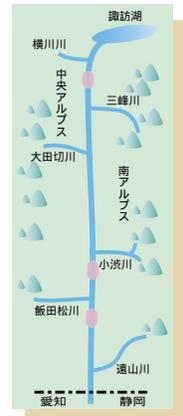


撮影 今井

生活型：多年草、抽水植物

分布：日本各地

形態等：葉は根元から出る。若い頃の葉は線形、狭長楕円形の葉を經、やがてやじり形の葉身になる。長さ7~30cm。花期は7~10月、花は白色で花弁を三枚つける。花茎は高さ20~100cm。食用にされるクワイはオモダカを改良した変種で、根茎を食べる。

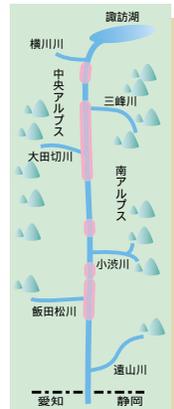


天竜川上流における分布

飯田市時又、豊丘村芦部川合流、箕輪町三日町の3ヶ所で確認した。水際の泥湿地に生育する。水田によく見られる。



撮影 EAC



天竜川上流における分布

飯田市時又より上流のほぼ全域で確認した。緩やかな流水中や水たまり等に生育する。

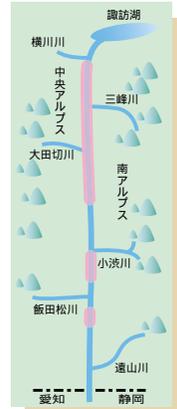
生活型：常緑、沈水植物

分布：帰化植物、北アメリカ原産

形態等：全長は1mを越えることもある。葉は長さ6~15mm、幅1~2.5mmの線形で、普通3輪生。細かいきよ歯がある。花期は5~9月、雄花はつぼみの状態で親植物から離れ、水面に浮いて開花する。昭和初期に雄株のみ輸入され、現在各地で大繁殖している。



撮影 EAC



天竜川上流における分布

飯田市時又より上流のほぼ全域で確認した。個体数は少ない。流れの緩やかな流水中に生育する。

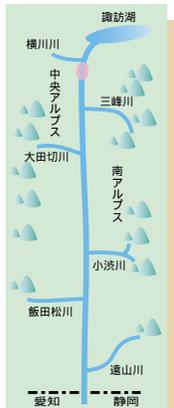
生活型：多年草、沈水植物

分布：北海道~南西諸島

形態等：水中茎の断面は中央のくびれた楕円形。葉は長さ3~10cm、幅3~9mmの広線形、無柄で先は円いかやや尖る。多数のきよ歯が目立ち、葉脈は赤みがる。縁は縮れたように波打つことが多い。花期は5~9月、花穂の長さは5~12mm。



撮影 今井



天竜川上流における分布

辰野町相合橋の1カ所で確認した。緩やかな流水中や水たまりに生育する。

生活型：多年草、沈水植物

分布：北海道~南西諸島

形態等：葉は根元から出て、長さ10~80cm、幅3~9mmの線形(リボン状)。先端の方では縁にきよ歯が目立つが、下方ではまばらになるか全くなくなる。花期は8~10月、雌株は細い花茎を長く伸ばし、水面で花を開く。雄株は花を浮上させ、水面で開花、受粉させる。



撮影 EAC



天竜川上流における分布

辰野町新樋橋の1カ所で確認した。流れの緩い流水中に生育する。

生活型：多年草、沈水~浮葉植物

分布：北海道(稀) 本州~九州

形態等：水中茎は長さ3mを越えることもある。沈水葉は長楕円形~狭披針形で、長さ5~30cm、幅1~2.5cm。縁にはきよ歯がある。花期は7~9月、花序の長さ4~11cm。



生活型：多年草、沈水植物

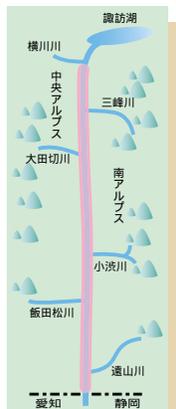
分布：北海道～九州（西日本では稀）

形態等：水中茎の断面は楕円形。葉は線形で柄がなく、先がとがり縁にきょ歯はない。長さ2～6cm、幅0.7～1.5mm。花期は6～8月、花茎の長さは1～2.5cm、花穂の長さは3～5mm。

天竜川上流における分布

6ヶ所で確認した。流れの緩い流水中や水たまりに生育する。1997年レッドリストでは絶滅危惧類とされているため、分布の図示は避けた。

撮影 今井



生活型：多年草

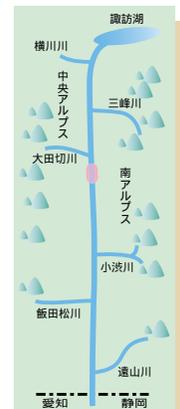
分布：北海道～九州

形態等：高さ80～100cm。葉は黄緑色の広線形で、2列に並び、基部は重なり合う。花期は7～8月で、橙赤色の八重咲きの花を咲かせる。有史以前に中国より帰化した植物といわれる。若葉と花は食用にする。

天竜川上流における分布

全域で確認した。場所によって群生しているが、花を咲かせる個体は限られている。

撮影 今井



生活型：多年草

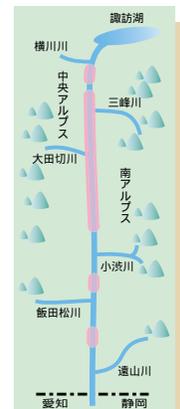
分布：本州～九州

形態等：花茎は高さ100～150cm。花期は7～9月、花序が分枝し、淡い黄色の花をつける。葉は線形、長さ40～60cm、幅5～15mm。花は夕刻開き、翌日午前中に閉じる。

天竜川上流における分布

駒ヶ根市天竜大橋の1カ所で確認した。日当たりのよい堤防草地等に生育する。

撮影 今井



生活型：多年草、抽水植物

分布：帰化植物、ユーラシア大陸原産

形態等：高さ50～120cm。葉は2列に並び、剣状で、幅2～3cm。両面に隆起した偽中央脈がある。花期は初夏、茎は途中で少数の枝を分け、枝上に1～2個の鮮黄色の花をつける。

天竜川上流における分布

泰阜村長瀬橋から上流で確認したが、上伊那に多い。水際の湿性に生育する。

撮影 今井